

エネルギー基本計画見直しに、4点期待します

1. **バックカスティング**で目標を設定して下さい
(未来の子供たちにバトンタッチしたい、あるべき姿)
2. **情報をオープン**にし、**国民との議論**の場を設けて下さい
(発電単価、世界の流れなど)
3. **地域を軸**にすれば、**エネルギー自給率**は向上します
(広域・大規模ではなく、分散・小規模発電へ)
4. **送電線は公共財**なので、**公共機関**が管理して下さい
(小規模再エネ普及のボトルネックになっています)

2017年 7月

ワタミファーム&エナジー株式会社

代表取締役社長 小出 浩平

ワタミグループの環境ミッション（2010年から）

ワタミ環境宣言2008

美しい地球を美しいままに、
子どもたちに残していく

- 地球で事業活動を行う企業の責任として、
その存在ゆえに生じる環境負荷を少しでも小さくする。
～地球の邪魔をしない存在となる～
- 環境活動が経済活動であることを証明して、
他の企業を啓発する。
- グループの成長に伴い
増え続ける国内外の従業員を介して「環境」に働きかける。
その一人ひとりが生活の中で、常に「環境」を意識し、
実質的に明日の地球の現実を変えていくための行動をとる。



ワタミグループ環境方針(W-ECOビジョン2020)
“グループCO₂排出量を
2020年までに50%削減”
(09年度比、売上高当たり)

ワタミグループは、ワタミ環境宣言2008の考え方に基づき、W-ECOビジョン2020を環境方針として掲げます。このW-ECOビジョン2020達成のため、下記のとおり、3つのテーマに分けて環境活動を実施します。

1. 事業活動における環境負荷(CO₂)を低減します。
 - 外食事業、介護事業、弁当宅配事業におけるCO₂排出量を50%削減します。
2. 循環型社会構築のため、環境改善事業を強化します。
 - 安心・安全な循環型社会構築のため、有機野菜の生産量拡大を目指します。
 - 外食事業・食品製造事業による食品廃棄物(生ゴミ)のリサイクルに努めます。
 - 環境教育や森林保全に取り組む“ワタミの森”の活動を促進します。
3. グループ社員の一人ひとり環境意識を向上させ、日々の環境改善を推進します。
 - 社員・パート・アルバイトが生活で排出するCO₂を2020年度までに30%削減します。

IPCC第4次報告2050年
までに先進国▲80%、
まず企業でチャレンジしよう、
再エネへのチャレンジを
スタートさせました

会社概要

■社名 ワタミファーム&エナジー株式会社（2015年ワタミエコロジーから変更）

■設立 1999年(平成10年)7月1日

■資本金 194百万円（ワタミ株式会社 100%）

■売上高 32億円（2016年度、エナジー事業単体）2017年度計画 34.3億円

■社員数 34名(2017年4月現在、外部出向者・アルバイト含む)

■本社所在地 東京都大田区羽田一丁目1番3号（〒144-0043）

■事業内容 ①電力事業:契約電力 約48,000kW(北陸・四国・沖縄電力管内以外)
地域電力会社:うすきエネルギー株式会社、株式会社 Apaman Energy
チルドリン電力 他

②発電事業:風力 2,000kW×3基、太陽光(15M、12M、他)

③地域事業:林業 約400ヘクタール

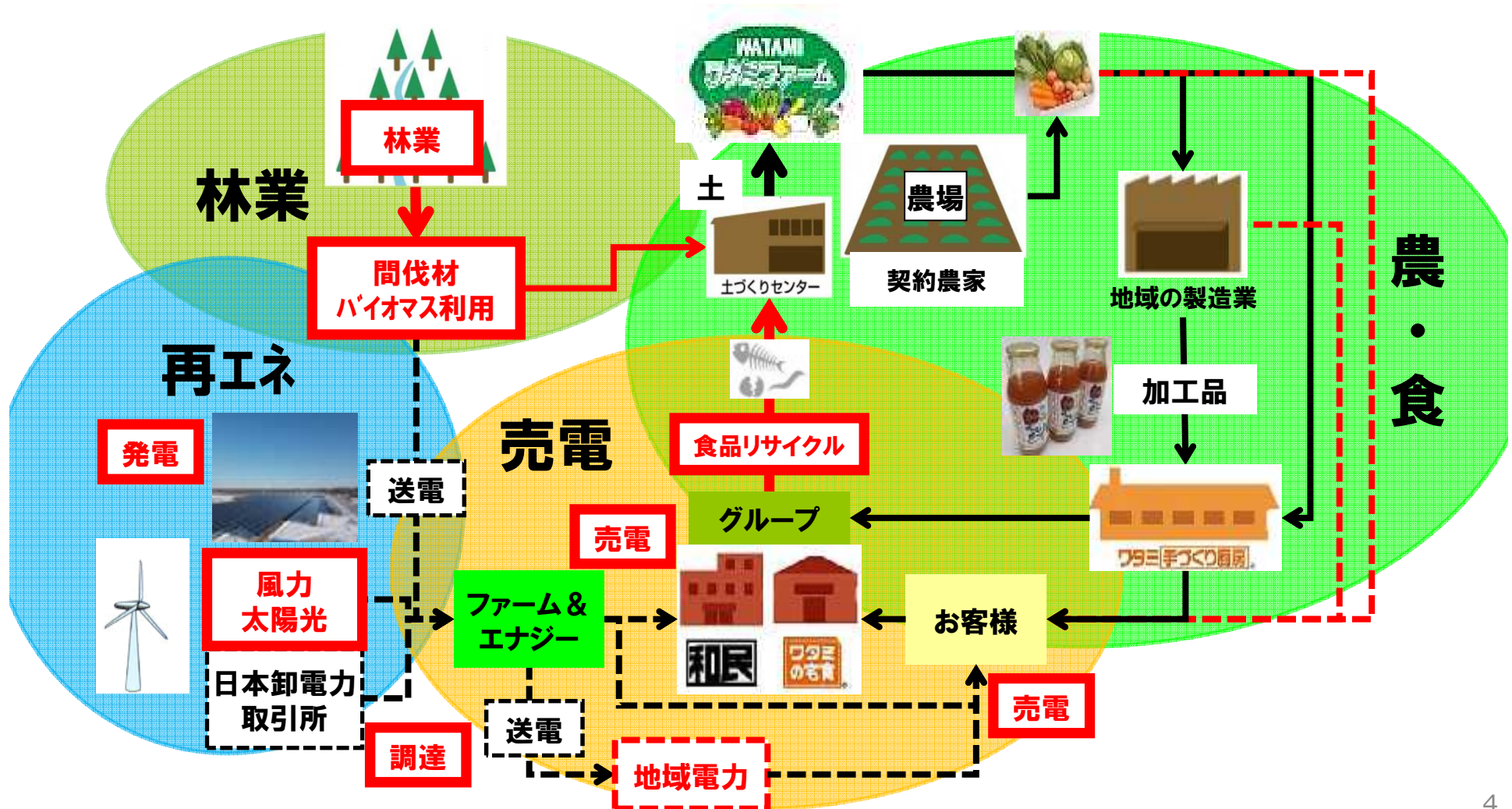
■主要取引先

大分県臼杵市	大分市	北海道厚真町	帯広市
学校法人 清風学園		学校法人 郁文館夢学園	
SOMPOケアネクスト株式会社		株式会社 環境経営総合研究所	
株式会社 市民風力発電		株式会社 CSS (シーエスエス)	
パワーシェアリング株式会社		東光電気工事株式会社	
株式会社アパマンショップホールディングス			
特定非営利活動法人 チルドリン			

順不同敬称略

1次産業とエネルギーを活用した地域づくり支援

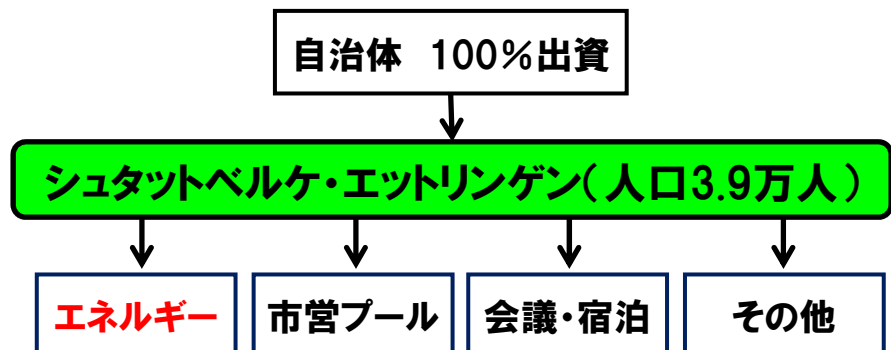
- ・食糧自給率、エネルギー自給率向上のカギは地域
- ・森、有機農業、再生可能エネルギーは親和性が高い



ドイツ・シュタットベルケを参考に地域電力推進

・ 『ドイツ自治体法』 = 地域でできることは地域でやらなければならない

- ① 公共インフラサービスの統合提供
- ② インフラの管理・経営
- ③ 自治体財政上の相乗効果
- ④ 赤字部門の補てん（交通部門・文化的施設等）



	売上高	雇用
事業計	83億円	181人
電力	48%	再エネ74%
ガス	36%	
水道	6%	
熱	2%	
プール	2%	
会議宿泊	1%	

公社協会(VKU) 合計		
会員数	1,428社	シュタットベルケ
売上高	15兆円	1000社
雇用	24.6万人	

(出典)2017年2月6日日独自治体
エネルギー会議資料より

全国の地域のニーズに応じた支援をしています

- 【再エネ・林業】
- 【ワタミファーム】
- 【再エネ等開発中】



美濃市
地域電力をきっかけに、
地域づくりへの展開を
検討中

厚真町
メガソーラーをきっかけに、
役場に社員出向、ブランド
開発、自然学校実施、地
域電力提案

せたな町
ファームがJAS有機酪農を
展開、役場と連携し、地
域ブランド品開発中

にかほ市
風力発電をきっかけに
地域物産活用や社員旅
行実施、地域電力提案
中

帯広市
自然学校発祥の地、農
業インターンシップ展開の
ため、役所に社員出向
中

美幌

むかわ

岩手県洋野町
みちのくエコランド
プロジェクトを計画中

東御

東松山・日高

郡上

山武市
ファーム・ワタミの森発祥の
地、食品リサイクルなど展
開中

岩国

丹波

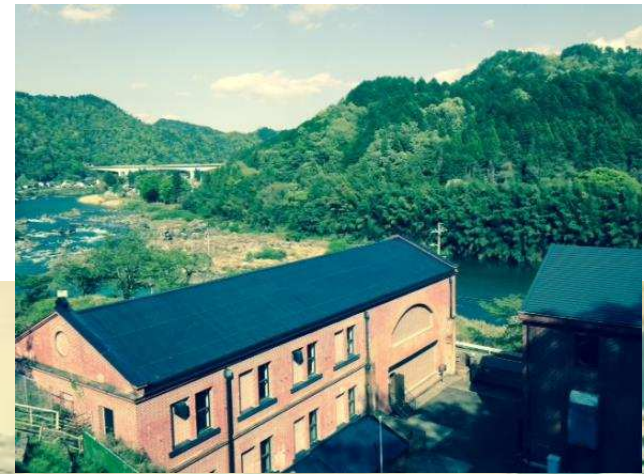
相模原

臼杵市
ファーム進出をきっかけに、
市役所に社員出向、林
業、バイオマス利用、売電
を展開

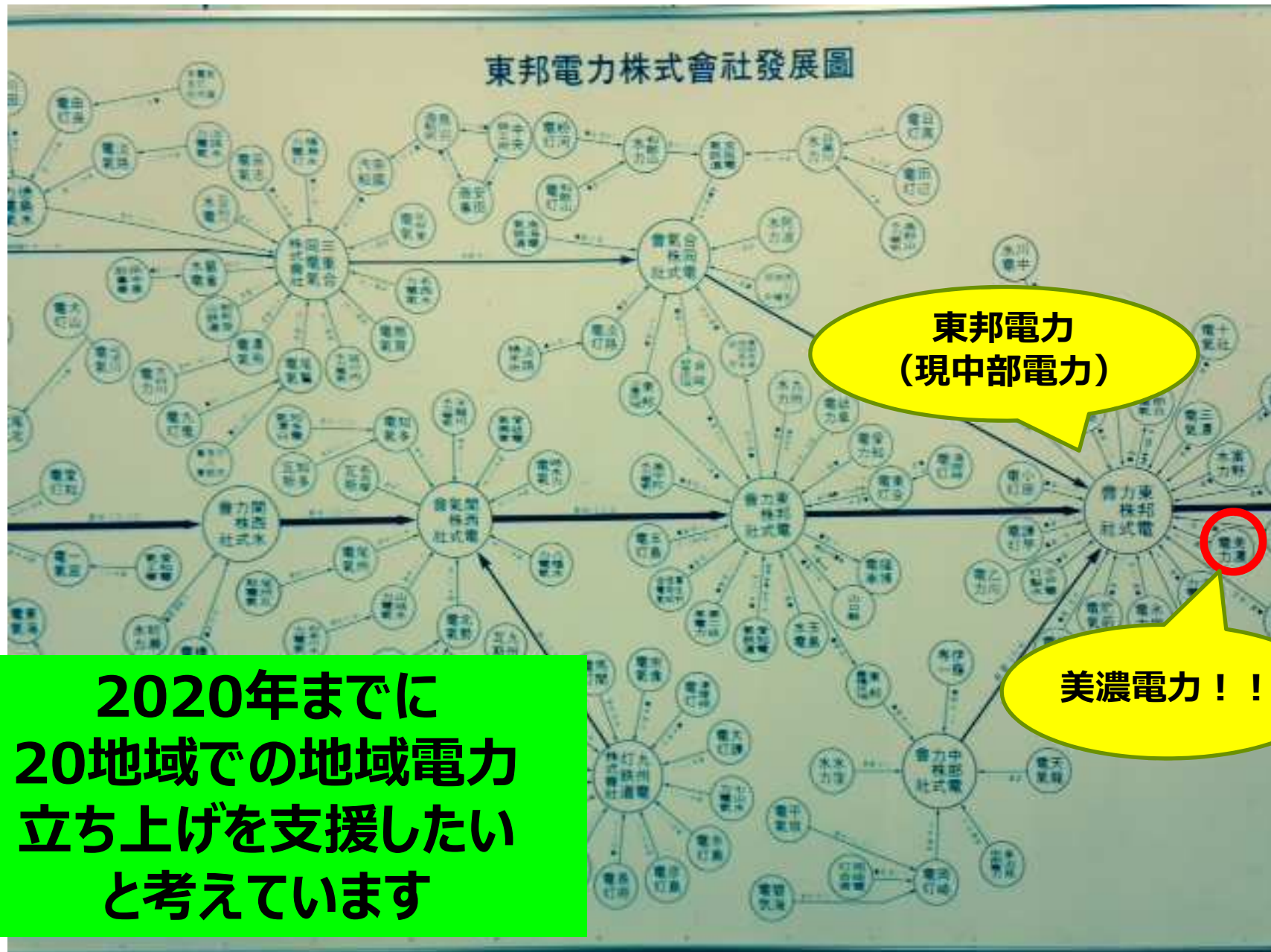
尼崎



岐阜県美濃市の長良川水力発電（4.8MW）



実は、美濃電力がありました！



2020年までに
20地域での地域電力
立ち上げを支援したい
と考えています